平和の歌姫は偶像を脱ぎ捨て戦いの女神となる

「プラントの歌姫」あるいは「ピンクの妖精」。ラクスを形容することばからは、人々が彼女を純真無垢な平和の女神としてみなしていることが読み取れる。しかしそれは、ラクスの本質から外れた偶像崇拝にすぎない。女神は女神でも、彼女はギリシャ神話に登場するアテナのような、戦う女神なのだ。

ラクス自身が言うように、平和を唱えながら戦うことは、大いなる欺瞞をはらんでいる。戦う目的が暴力の応酬を止めることだとしても、彼女のしていることもまた暴力の行使であることは否定できない。

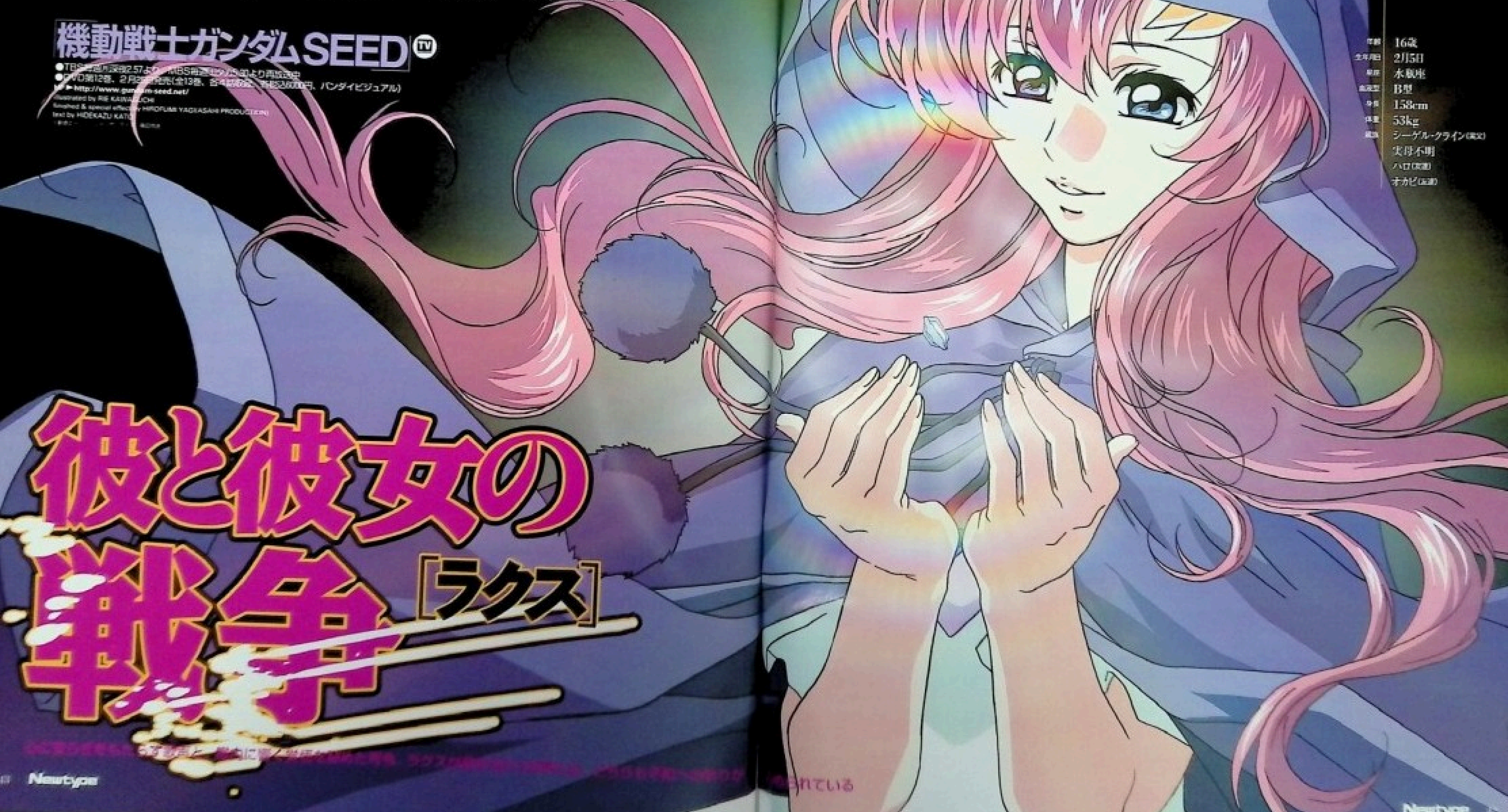
同時に彼女は、祈りをささげるだけでは平和がやってこないことも認識している。だからこそ、フリーダムという圧倒的な「暴力装置」をキラに与え、みずからも戦場に身を置くことを選んだのだ。その代償として父を失うことになったときも、選んだ道を変えようとはしなかった。

しかし、力によってもたらされる平和では、戦争の種は消えない。それでも力を振るうと決めた彼女には、真の平和を実現する義務があるのだ。

戦いの女神アテナは、同時に知恵の女神でもある。これからのラクスに必要なのも、力による平和を真の平和へと導いていくための知恵だ。ナチュラルとコーディネイターの間にある溝が、一朝一夕では消えるはずもない。だが、どれほど道のりが遠かろうとも、ラクスは決してそこから逃げたりはしないだろう。この戦争に真の勇者がいるとしたら、それは彼女なのかもしれない。

機動戦士ガンダムSEED TV

●TBS…2.57より…MBS…より再放送中
●DVD第12巻、2月…発売(全13巻、各…円、バンダイビジュアル)
▶http://www.gundam-seed.net/
illustrated by RIE KAWAGUCHI
finished & special effects by HIROFUMI YAGI(ASAHI PRODUCTION)
text by HIDEKAZU KATO



彼と彼女の戦争［ラクス］

Lacus Clyne

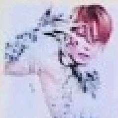
ラクス・クライン

外見よりは…コーディネイターの共通点か？

年齢	16歳
生年月日	2月5日
星座	水瓶座
血液型	B型
身長	158cm
体重	53kg
家族	シーゲル・クライン(実父)
	実母不明
	ハロ(友達)
	オカピ(友達)



1st ALBUM
Greeting
2.25 ON SALE



Albireo ―アルビレオ―
T.M.Revolution
2.25 ON SALE





























彼女が彼を選んだわけ

キラとアスラン 2人の違いは ラクスの必要度

アスランの婚約者だったラクスは、途中からキラのそばにいることを選んだ。人の心はうつろうものだし、もともと政略結婚の色彩が強い婚約であったから、この"乗り換え"自体は責められるものではない。

だが、ラクスとアスランの結びつきが、単に形式上のことだけだったのかといえばそうではない。もしそうであるなら、アスランからプレゼントされたハロに名前までつけて、大事そうにしているわけがない。少なくともラクスのほうは、アスランに対して好意を抱いていたはずだ。

一見するとラクスが一方的にアスランを"振った"ように見えるが、実のところラクスはずっとアスランに片思いの状態だったのではなかろうか? だが、アスランのほうはラクスが彼の存在を求めるほどには、彼女のことを求めてはくれなかった。

アスランがクライン邸を訪れたときのやりとりを見れば、2人の互いを思う心に温度差があることがよくわかるはずだ。

一方キラのほうは、狂おしいまでに"自分を必要としてくれる人"を求めていた。また、そうしなければ彼は生きていくことができなかった。ラクスにしてみればどっちが好きかというよりも、自分の存在がより意味のある場所に移ったという感覚なのかもしれない。

もしアスランがキラほどに心の弱さを見せていたら、ラクスは今もアスランの隣にいたのではないだろうか? 強さゆえに振られたのだとしたら、なんとも皮肉な話である。

エピローグ「星のはざまで」



DVD13 3.26 ON SALE



彼と彼女の戦争「ラクス」

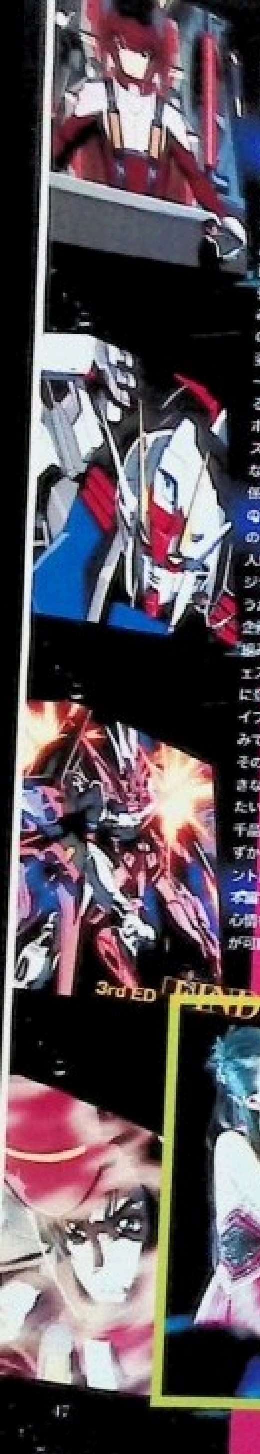
original illustration by HISASHI HIRAI

宣戦布告

2003.12.27

shot by TAKEHITO ABE
text by HITOMI AMAMIYA

2万人規模の観客を動員した「機動戦士ガンダムSEED FESTIVAL」。「宣戦布告」の文字とともに始まったその衝撃の内容と企画段階からのエピソードを一挙公開!!



SEEDの魅力を間近で見て感じてもらうには

幅広い層から支持を受け、好評のうち昨年9月に放映が終了。その人気は衰えることを知らず、あらゆるジャンルから注目されつづけ、雑誌などの特集も後を絶たなかった。そんな中、関係者間でもち上がった企画が今回の「SEED FESTIVAL」だ。強力アーティスト陣のCDは、軒並みヒットを飛ばし、またDVD付きの限定版は、またたく間に店頭から姿を消してしまったというほどのセールス状況ではあったが、会場となる場所は代々木第一体育館。国際スポーツ試合の決勝戦や有名アーティストのライブなどに使用される巨大な施設だ。この事実には、やはり関係者たちも戸惑いを見せた。「アニメのライブにおいて、これほどの規模のものは経験したことがない」「2万人規模のファンを納得させるステージづくりが、はたしてできるのだろうか?」不安と期待が入り交じる中、企画は進み、イベントそのものの骨組みが上がってきた。本編のダイジェスト映像とともに各アーティストに登場してもらい、その合間を"ライブナレーション"という新しい試みで進行させようというものだった。その内容はここでしか聴くことのできない、新鮮かつ貴重なものでありたいと考えた企画部の意向は、両澤千晶のもとに届き、シリーズ構成みずからによる完全書き下ろしのイベント用台本が完成された。こうして本編では語られなかったキラたちの心情を、ステージ上で再現することが可能となったのだ。

ラストに映し出された謎のメッセージ。その真相は……

リハーサルでは福田監督直々の演技指導も行なわれ、出演CV4名はアフレコとは違う難しさに苦労したという。またイベント当日もギリギリまで舞台調整がされるなど、本番直前まで慌ただしいようすの会場内。外の販売ブースでは、開演の数時間前から長蛇の列が並び、フェスティバル用の限定グッズを求める来場者であふれ返っていた。それから間もなく、開演間近の客席は、開始はまだかと待ちわびる約1万人ものファンで埋めつくされ、その圧巻の光景に、関係者たちは思わず息をのんだ。そしてステージ中央、左右には、会場全体から見えるほどの巨大なモニターが設置され、そこに映し出された本編映像、各出演者たちの真剣なまなざしなどがよくわかり、ライブ慣れしている人も、そうでない人も、楽しめるよう設計されたつくりだった。始まりから終わりまで「SEED」の世界を余すところなく表現し、集ったファンの気持ちを第一に考えた2時間半。ラストの出演者からのあいさつでは、ラクス役・田中理恵が感涙のあまり涙声になってしまうひと幕もあり、客席からは温かい声援が送られた。またステージ終演後、映し出された「TO BE CONTINUED」の文字。これにはいったいどんな意味があるのか? 現段階で、その真相は不明である。今回のイベントはカテゴリーを超え、アーティストとのコラボレーションの上に成り立ったひとつの成果であり、またアニメーションのもつ新たな可能性を示唆するものだったといえるだろう。



第3部ナレーション&ラクス・クライン役
田中理恵





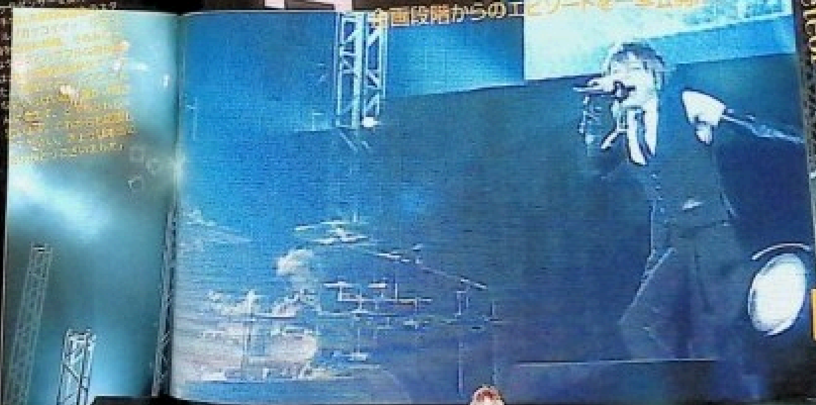
T.M.Revolution
1st OP「INVOKE —インヴォーク—」 Insert Song「Meteor —ミーティア—」

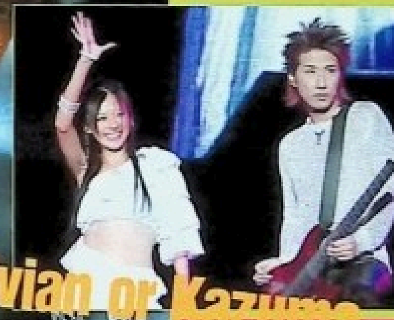


第1部ナレーション&アスラン・ザラ役
石田彰



玉置成実
3rd OP「Believe」 4th OP「Realize」



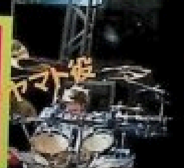


Vivian or Kazuma
2nd ED「moment」



3rd ED「FIND THE WAY」
中島美嘉

彼と彼女の戦争 ラクス





第4部ナレーション&キラ・ヤマト役
保志総一朗



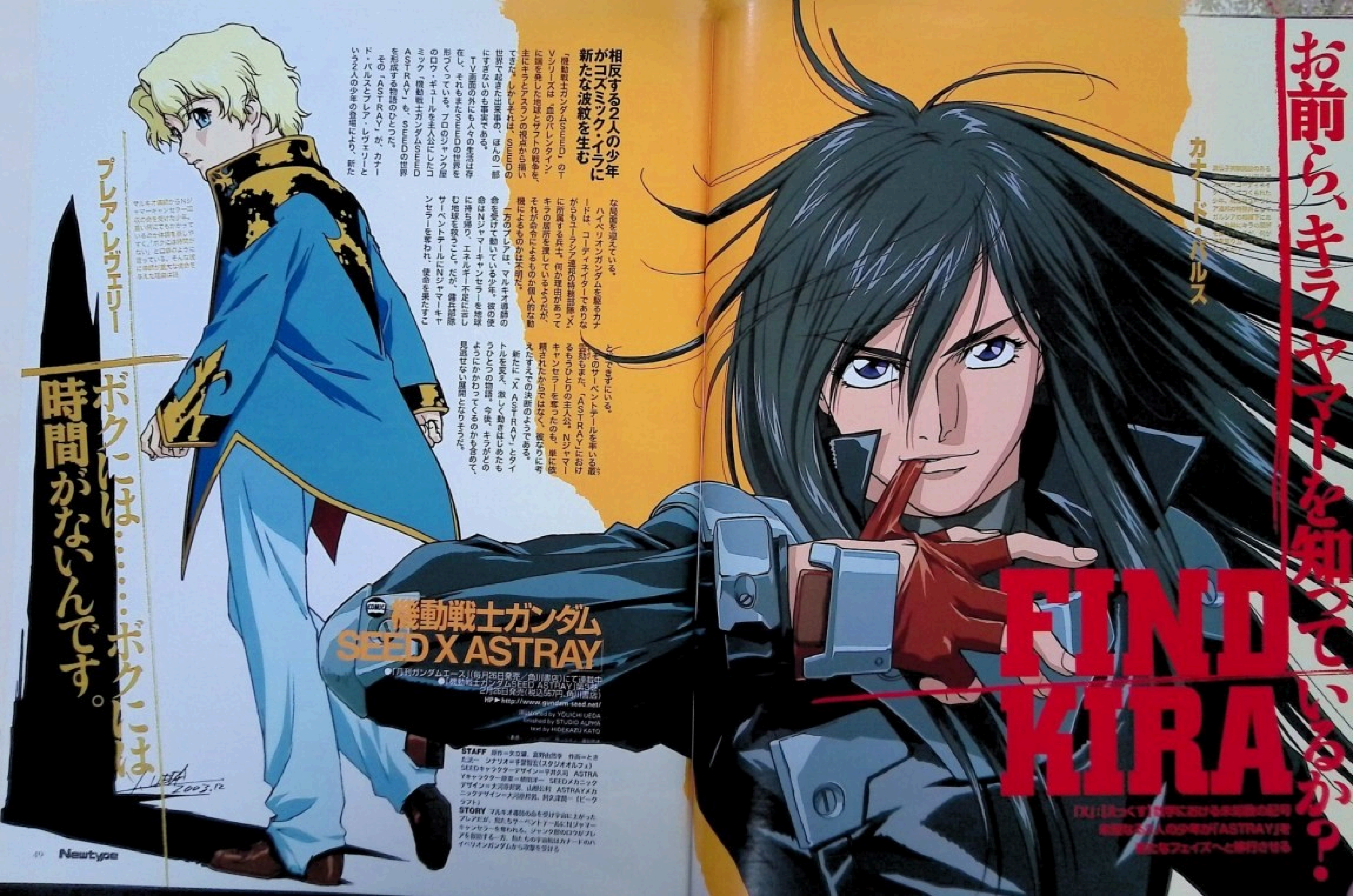
Fiction Junction featuring YUUKA



Insert Song「暁の車」



第2部ナレーション&カガリ・ユラ・アスハ役
進藤尚美



お前ら、キラ・ヤマトを知っているか？

FIND KIRA

カナード・パルス

プレア・レヴェリー

ボクには……ボクには時間がないんです。

相反する2人の少年がコズミック・イラに新たな波紋を生む

「機動戦士ガンダムSEED」のTVシリーズは「血のバレンタイン」に端を発した地球とザフトの戦争を、主にキラとアスランの視点から描いてきた。しかしそれは、SEEDの世界で起きた出来事の、ほんの一部にすぎないのも事実である。

TV画面の外にも人々の生活は存在し、それもまたSEEDの世界を形づくっている。プロのジャンク屋のロウ・ギュールを主人公にしたコミック「機動戦士ガンダムSEED ASTRAY」も、SEEDの世界を形成する物語のひとつだ。

その「ASTRAY」が、カナード・パルスとプレア・レヴェリーという2人の少年の登場により、新たな局面を迎えている。

ハイペリオンガンダムを駆るカナードは、コーディネイターでありながらもユーラシア連邦の特務部隊「X」に所属する兵士。何か理由があってキラの居所を捜しているようだが、それが命令によるものか個人的な動機によるものかは不明だ。

一方のプレアは、マルキオ導師の命を受けて動いている少年。彼の使命はNジャマーキャンセラーを地球に持ち帰り、エネルギー不足に苦しむ地球を救うこと。だが、傭兵部隊サーペントテールにNジャマーキャンセラーを奪われ、使命を果たすことができずにいる。

そのサーペントテールを率いる叢雲劾もまた、「ASTRAY」におけるもうひとりの主人公。Nジャマーキャンセラーを奪ったのも、単に依頼されたからではなく、彼なりに考えたすえでの決断のようである。

新たに「X ASTRAY」とタイトルを変え、激しく動きはじめたもうひとつの物語。今後、キラがどのようにかかわってくるのかも含めて、見逃せない展開となりそうだ。

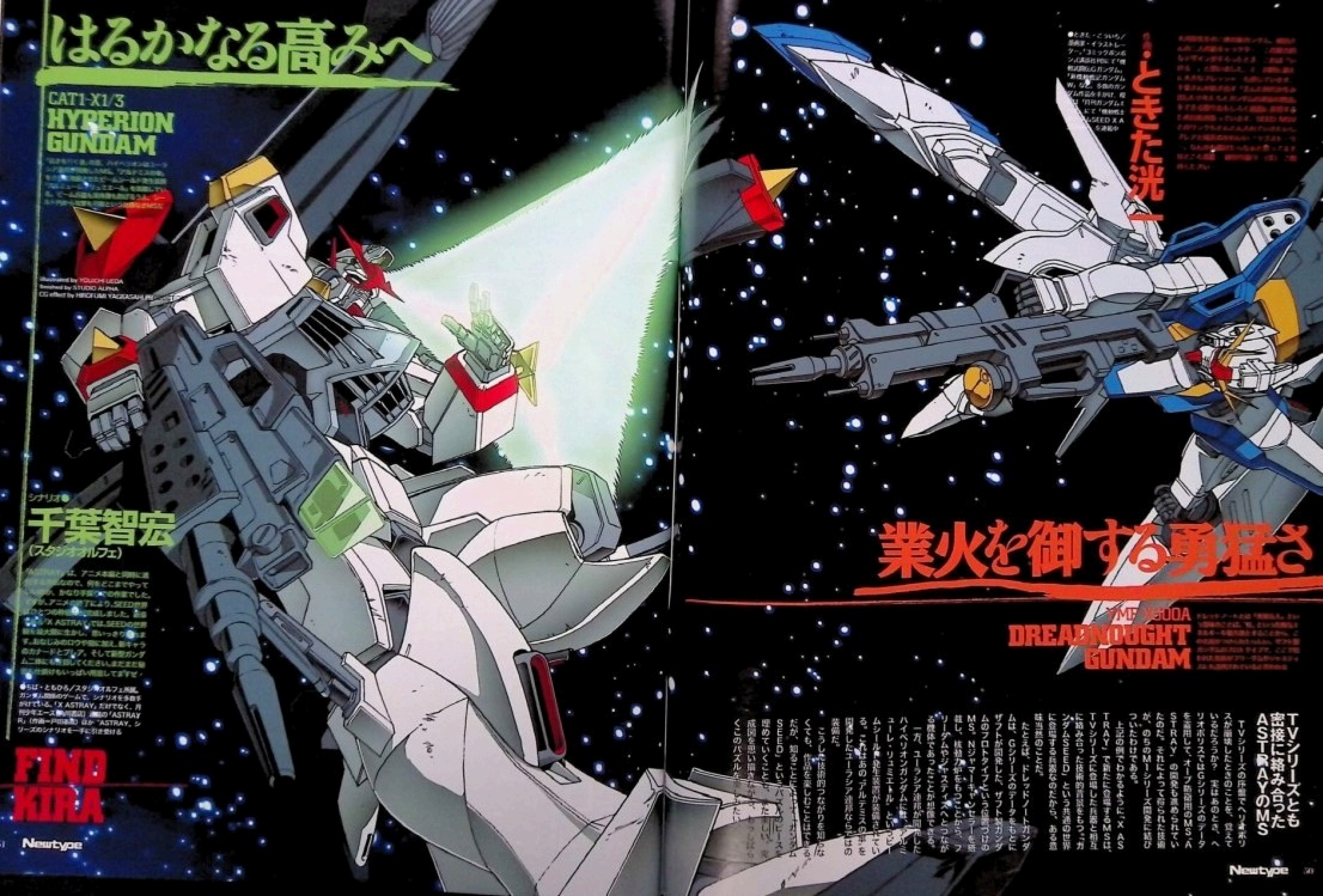
機動戦士ガンダム SEED X ASTRAY

●「月刊ガンダムエース」(毎月26日発売／角川書店)にて連載中
●「機動戦士ガンダムSEED ASTRAY」第[illegible]巻 2月26日発売(税込567円／角川書店)
HP ▶ http://www.gundam-seed.net/

Illustrated by YOUICHI UEDA
finished by STUDIO ALPHA
text by HIDEKAZU KATO

STAFF 原作＝矢立肇、富野由悠季 作画＝ときた洸一 シナリオ＝千葉智宏(スタジオオルフェ) SEEDキャラクターデザイン＝平井久司 ASTRAYキャラクター原案＝ときた洸一 SEEDメカニックデザイン＝大河原邦男、山根公利 ASTRAYメカニックデザイン＝大河原邦男、阿久津潤一(ビークラフト)

STORY マルキオ導師の命を受け宇宙に上がったプレアだが、劾たちサーペントテールにNジャマーキャンセラーを奪われる。ジャンク屋のロウがプレアを救助する一方、劾たちの宇宙船はカナードのハイペリオンガンダムから攻撃を受ける



はるかなる高みへ

CAT1-X1/3
HYPERION GUNDAM

Illustrated by YOUICHI UEDA
finished by STUDIO ALPHA
CG effect by HIROFUMI [illegible]

シナリオ●
千葉智宏
（スタジオオルフェ）

「ASTRAY」は、アニメ本編と同時に進[illegible]ので、何をどこまでやって[illegible]、かなり手探りの作業でした。[illegible]アニメ[illegible]により、SEED世界[illegible]しました。[illegible]「X ASTRAY」では、SEEDの世界[illegible]、思いっきり[illegible]す。おなじみのロウや劾に加え、新キャラのカナードとプレア、そして新型ガンダム二機に[illegible]してください。[illegible]いっぱい用意してますぜ。

●ちば・ともひろ／スタジオオルフェ所属。ガンダム関係のゲームで、シナリオを多数手がけている。「X ASTRAY」だけでなく、月刊少年エース[illegible]連載の「ASTRAY R」（作画一戸[illegible]）ほか「ASTRAY」シリーズのシナリオを一手に引き受ける

FIND KIRA

ときた洸一

●ときた・こういち／漫画家・イラストレーター。「コミックボンボン」[illegible]「新機動戦記ガンダムW」など、多数のガンダム作品を手がけ、現在「月刊ガンダムエース」にて「機動戦士ガンダムSEED X ASTRAY」を連載中

業火を御する勇猛さ

DREADNOUGHT GUNDAM

TVシリーズとも密接に絡み合ったASTRAYのMS

TVシリーズの序盤でヘリオポリスが崩壊したときのことを、覚えているだろうか？　実はあのとき、ヘリオポリスではGシリーズのデータを流用して、オーブ独自のMS「ASTRAY」の開発も進められていたのだ。それによって得られた技術が、のちのM1シリーズ開発に結びついたわけである。

上記の例でわかるように、「X ASTRAY」で新たに登場するMSは、TVシリーズに登場した兵器と相互に絡み合った技術的背景をもつ。「ガンダムSEED」という共通の世界に登場する兵器なのだから、ある意味当然のことだ。

たとえば、ドレッドノートガンダムは、Gシリーズのデータをもとにザフトが開発した、ザフト製ガンダムのプロトタイプという位置づけのMS。Nジャマーキャンセラーを搭載し、核動力炉をもつことから、フリーダムやジャスティスへとつながる機体であったことが想像できる。

一方、ユーラシア連邦が開発したハイペリオンガンダムには、「アルミューレ・リュミエール」というビームシールド発生装置が装備されている。これはあのアルテミスの傘を開発したユーラシア連邦ならではの装備だ。

こうした技術的つながりを知らなくても、作品を楽しむことはできる。だが、知ることによって「ガンダムSEED」という[illegible]埋めていくこと[illegible]成図を思い描き[illegible]くこのパズルを[illegible]